

山スクール トレッキング1実技⑦ B班報告書

2022年10月15日(土) 晴れ

場所：岩湧山～紀見峠




メンバー：講師2名 田中さん、松本さん

生徒6名 M・S(CL)K・A(SL)K・I(気象)A・K(ストレッチ)M・M(装備)M・K(記録)

集合 8時20分 河内長野駅前ロータリーバス停7番乗り場 集合

8時30分 滝畑ダム行きバス乗車→滝畑ダム9時着

行程・ルート

9:40 滝畑ダム登山口  →10:10 カキザコ→12:00 岩湧山  →13:48 五ツ辻→14:20 阿弥陀前山分岐→15:03 岩湧山三合目→15:50 越ヶ滝→16:21 南海紀見峠駅 



バス停より10分ほど歩くと登山口。

田中講師よりスキのお話(茅葺屋根に使われているなど。)

滝畑ダム登山口

階段もあり整備されている



カキザコ到着。衣服調整など行う。

カキザコ過ぎると自然林に。

目標の送電線

鉄塔下で地図の確認



ススキの中を進みながら



岩湧山山頂



山頂より見える金剛山と
大和葛城山。



頭上に注意



水場



阿弥陀前山分岐、道が広く
分かりにくい。



15時03分三合目到着。
A班と合流。



CL、SLが集まり行程を
再検討。



エスケープルート分岐より越ヶ滝経由で紀見峠駅へ下山へ予定変更し16時21分紀見峠駅に到着。

学び・感想

コースの選び方について、長距離歩行や季節の変化により日の入時間が早くなるなど下山時間が遅くなる可能性も考えて下山は本数が少ないバス停ではなく駅に下山するルートを選択することで、余裕をもった行程にすることができる。



※①



※②

※①グローブについて右からウールの薄手・フリース・防水アウターグローブを重ねて使用。濡れる事も想定し予備のグローブも必ず持参する。

又、冬季はグローブをはめた状態で細かい操作をする必要があり、慣れておく必要がある。

※②季節が秋冬に入ると荷物が増える。縦にパッキングすると見やすく取り出しやすい。飲み物など重いものは背中に近い側に入れる。

道は道標も多く整備されているので分かりやすく、歩きやすかった。今回も読図しながら歩くが前回の実技から少し期間が経つとコンパスに慣れるまでに少し時間がかかり日頃の登山時にもコンパスに慣れておく必要を感じた。

当日は気温が高く暑いと予報。樹林帯の中は涼しかったが樹林帯を抜けると日光を遮るものがなくかなりの暑さを感じる。日中と夕方の気温差を感じウェア調整をうまくできるように考えたいと思います。

今回下りでエスケープルートを選択。リーダーたちの判断により余裕をもって下山することが出来た。行程の進行状況の見極めと早めの判断の大切さを身をもって体験しました。山頂の見ごろを迎えたススキを見ながらの実技、今回も大変充実したものとなりました。